

2022 年 3 月 8 日
ディップ株式会社

バイトル「時給 UP 企業応援団」企画 記者発表会 乃木坂 46 秋元真夏さん、齋藤飛鳥さん、はじめしゃちょーさん登場！ ～時給アップの応援メッセージを「あいうえお作文」で披露！～ 秋元さん「バイトルに登録している企業の皆様、そしてバイトルでお仕事を探す皆様」 齋藤さん「インセンティブプロジェクトで」 はじめしゃちょーさん「ともに笑顔になれる明日を目指しましょう！」

ディップ株式会社（以下、「当社」）は、企業へ給与アップを提案し、採用力強化につなげるとともに、「働く人の待遇向上」の実現を図る取り組みである「ディップ インセンティブ プロジェクト」（以下、「本プロジェクト」）を、2021 年 12 月より展開しております。この度、本プロジェクトの一環として、日本を代表する動画クリエイターのはじめしゃちょーさんなど 7 組のクリエイターを起用し、Web 動画を通じて時給アップを呼びかける「時給 UP 企業応援団」企画を、2022 年 3 月 4 日（金）より「バイトル」で開始いたします。

これを記念して、はじめしゃちょーさんと、2022 年 1 月から「ディップ インセンティブプロジェクト」の TVCM に出演する乃木坂 46 の秋元真夏さん、齋藤飛鳥さんをお迎えして、バイトル「時給 UP 企業応援団」企画 記者発表会を、2022 年 3 月 4 日（金）に開催しました。



■発表会の様子

はじめに、当社代表取締役社長 兼 CEO（最高経営責任者）富田英揮がステージ上に登壇。MC から、今回の新 CM の中に出てくる「時給をあげてください」というセリフはどのような発想で生まれたのかについて聞かれると、「当社のフィロソフィーに“ユーザーファースト”という思想があり、ユーザーのことを第一に考えて日々企画しています。コロナ禍でアルバイトの方の収入が激減している状況で何かお役に立てないかと考え、いま一番求められているのは時給アップなのではないかと考えました」と説明。また、求人サイトとしてこのような取り組みを行うことは非常にユニークだと思いますが、どのような経緯でそのような考えに至ったのかという質問に対しては、「働いている方が「時給あげてください」とはなかなか言いづらい。我々は採用コンサルタントとして動いているので、時給をあげてほしいということは、我々が一番言いやすく、効果もあるのではないかと思います。また、様々な原材料がの価格が上がっている中で人件費が後回しになっていることに非常に危機感を感じた。働く人の給料が上がらないとインフレも実現できない、日本の経済を良くしていきたいと思もありました」とその経緯を説明しました。

MC の呼び込みにより、CM でも着用した「バイトルズ」のユニフォーム姿で登場した乃木坂 46 秋元さんと齋藤さん、はじめしゃちょーさんがステージ上に登場。MC より、秋元さんと齋藤さんに自身のグループが出演した TVCM の感想について聞いてみると、秋元さんは「CM 撮影の合間、近くにバイチュー（バイトルのキャラクター）がいたんですけど、すごく動きが可愛くて、私たちのアイドルみたいになってくれました。すごく癒されたのを覚えています」と振り返りました。一方で齋藤さんは、「バイトルさんの CM 撮影のときはいつも特殊な衣装を着ているのですが、なかでも真夏は野球の監督のような衣装をきていたりメンバー様々な衣装を着ているので、みんなでいじりあって楽しんでました」と、撮影のエピソードを交えながら笑顔で語ってくれました。はじめしゃちょーさんは、「・・・可愛かったっす。齋藤さんがバイト先にいらいいっすよね」とにやにやとしながらお二人の出演する TVCM を絶賛。「乃木坂のお二人に『時給上げてください』と言われたら、上げない人はいないんじゃないかってくらいインパクトのある CM でした」と興奮気味に感想を述べました。

会場では、“アルバイト”をテーマにしたトークセッションをすることに。MC から「アルバイトをした経験」について問われると、秋元さんと齋藤さんは、乃木坂 46 で活動していたのでアルバイト経験はないとしつつも、秋元さんは「ずっとやってみたかったのは試食販売です。小さいころお母さんと買い物に行ったときはウインナーの試食販売やっているとよく駆け寄って、これ買って！と頼んだりしてました」と、憧れの職業を話してくれた一方、齋藤さんは、「昔は、アルバイトはしたくないなあと思ってました（笑）バイトって子どもの時に考えると、人と接しなきゃいけなくて難しそうだなって思ったり、バイトって大変なイメージの方が強かったので。逆にこのバイトルの仕事をさせてもらって、全然いやなものじゃないんだなというのを知れたので、感謝してます」とコメント。はじめしゃちょーさんは「僕は大学の時に、コンビニとか家庭教師、テレビ局でケーブル巻く裏方、屋台のおみくじの店員とか結構やってました」と様々なアルバイト経験を披露。MC から、いまでもアルバイトするならどんな職業がいいかという質問に対して秋元さんは、「私はケーキ屋さんでクリスマスにサンタさんの格好してケーキ売るのが夢だったので、ケーキ屋さんやりたいです」と言うと、齋藤さんは「サンタさんの格好したいだけじゃなくて？（笑）」とツツコミ。秋元さんは「サンタさんの格好した姿をお客さんに見てほしい！」と満面の笑みで話してくれました。

次に、「もし今アルバイトをするなら、どのような基準でアルバイトを探す・決めるか？」との質問。3 人とも真剣に考え込む様子を見せながらも、秋元さんは「私は学校を選ぶときも基本的に制服で決めていたので、バイトを選ぶ時も制服から入るかもしれないですね」と回答。齋藤さんも頷きながら「私も CM で着させてもらったカフェの店員さんみたいな衣装、特にすごく大きい帽子がお気に入りだったので、ああいう制服のところで働きたいです」と、どちらも可愛い制服が着れるアルバイト先で働きたいと話してくれました。一方はじめしゃちょーは「僕はやっぱり時給で選んでましたね。時給が高いとモチベーションになったり、欲しいものがあるとそれに向けて頑張れたので、金、金、という感じで学生のときは選んでました

（笑）」と、素直な回答で乃木坂 46 のお二人から笑いを誘いました。

話題は、「時給 UP 企業応援団」企画に。立ち上げた経緯について富田は、「はじめしゃちょーさんをはじめとして、動画クリエイターの方々はユーザーと近い場所にいます。さらにユーザーの方と YouTube は非常に親和性が高く、これは動画クリエイターの方とタイアップをしたら相当面白いことになるのではと考えました」と説明。それを受けはじめしゃちょーさんは、「僕もアルバイトしていた経験上、時給を上げてくれと言うことのハードルの高さがわかっているのと、上がるにこしたことはないが言いづらいことなので、今回 dip さんが進めていただけるというのはすごく魅力的だと思いました。僕は言ったことはないですが、dip さんの思いに共感したので、応援団として頑張ろうと思いました！」と、今回の企画に対する意気込みを語りました。

そして最後に、今回の「時給 UP 企業応援団」企画の“応援団”にかけて、時給アップをすでにしている企業や、これから検討されている企業に向けて、また現場で働くアルバイトの皆さんへ向けて、3 人から「あいうえお作文」で応援メッセージが送られることに。今回のイベント内容に沿った「バ・イ・ト」のテーマでフリップに書かれた「あいうえお作文」が披露されました。最初に秋元さんは「バ・イ・ト」の「バ」、「バイトルに登録している企業の皆様、そしてバイトルでお仕事を探す皆様」と発表。続いて齋藤さんが「バ・イ・ト」の「イ」、「インセンティブプロジェクトで」。最後にはじめしゃちょーさんが「バ・イ・ト」の「ト」、「ともに笑顔になれる明日を目指しましょう！」と各々が考えてきた応援メッセージを披露。メッセージに込めた思いを MC から聞かれると、秋元さんは「このプロジェクトは、時給が上がって働く人はもちろん、企業にとっても人手不足の解消に繋がっていくものだと思うので、その両方に届いてほしいなと思います」、齋藤さんは、「真夏の言う通り、広い方々に届いてほしいのと、このプロジェクト自体が素敵なことだなと改めて思ったので、皆さんに広まるといいなと思いました」とプロジェクトに対する自身の思いをコメント。はじめしゃちょーさん「働く人が笑顔になれる、明日もがんばろうって思えるプロジェクトなので、その良さが広く届くことを願ってメッセージに込めました。」と熱い思いを発表。素晴らしい雰囲気の中で会が締めくくられました。

■発表会の様子（画像）



■オフィシャル素材

発表会および「時給 UP 企業応援団」企画のオフィシャル素材は、下記サーバーよりダウンロードいただけます。

<https://bit.ly/3vvcS7P>

※本イベントの写真・映像は本件以外の報道での使用はご遠慮ください

■代表質問

【乃木坂 46 秋元さん、齋藤さんへの質問】

Q：お二人は大の仲良しと伺っていますが、お互いが思うこんなアルバイトしているところ見てみたい、似合いそうだなと思うものを教えてください。

秋元さん：私がよく行くオムライス屋さんで、白っぽいワンピースに赤と白とチェックのふりふりしたエプロンが衣装のお店があるんですが、ちょっとアイドルの衣装にありそうなくらい可愛いので、その制服を着て私にオムライスを運んで来てほしいです。

齋藤さん：私は逆に、真夏は普段からコスプレが好きだったりとか、可愛い恰好が似合うので、あえて私が今までの真夏で好きだった、男装している真夏で接客してほしいです。その真夏をもっと日本中に広めたいと思います。

【乃木坂 46 秋元さん、齋藤さん、はじめしゃちょーさんへの質問】

Q：はじめてお給料をいただいたときの使い道は覚えてますか？

秋元さん：ちょっと嘘みたいな話なんですけど、両親にご飯をご馳走しました。良い人ぶってるとかではなくて、本当にやりました！（笑）」

齋藤さん：「私も一緒に両親にご馳走しました。乃木坂 46 のメンバーは多分みんなそうだと思います」

はじめしゃちょー：「僕は初任給で、コンビニで売っているパンを全種類買いました。ちょうど YouTube やっていたので、バイトで初めて稼いだ 4 万円を全部パンに使いました。パンは友だちと全種類食べようという動画を撮ったんですけど、12 個くらいでお腹いっぱいになったので、大学の友達にあげました」

【富田への質問】

Q：今回のプロジェクトとして、今後クリエイターの皆様に時給アップ企業応援団として、期待することを教えてください。

富田：「非常にユーザーの方と近い存在にあるので、実際にはじめしゃちょーさんのように働いていただいたり、もしくは、我々と一緒に時給アップの交渉に行っていただいたり、ユーザーの方々の待遇改善や不安を取り除くために、ご協力いただけたらと思います」

■タイアップ動画公開チャンネル（順次公開予定）

・はじめしゃちょー

URL：<https://www.youtube.com/c/0214mex>

・はじめしゃちょーの畑

URL：https://www.youtube.com/channel/UClKeJXipXwX7_ZGxOBnMQyw

・デカキン

URL：https://www.youtube.com/channel/UCg_m2ahbG9grCTh05T9kRog

・田中みかんちゃんねる

URL：<https://www.youtube.com/channel/UCRtmPX4pfSvYX-P5IJHmQUQ>

・夕闇に誘いし漆黒の天使達

URL：<https://www.youtube.com/channel/UC169FIKMFQKr1n65N3UcQag>

・北の打ち師達

URL：<https://www.youtube.com/c/yuusantosasaokahiro>

・みそ

URL：<https://www.youtube.com/channel/UCZxgM2yOZZ3osnMxygwnDhA>

■「ディップ インセンティブ プロジェクト」について

本プロジェクトは、当社の採用コンサルタントから企業へ給与アップを提案し、採用力強化につなげるとともに、「働く人の待遇向上」の実現を図る取り組みとなります。給与アップした求人や入社祝い金、継続勤務ボーナス等を支給する求人情報を求職者にわかりやすく表示しており、現在、1年以内に給与アップした求人件数は37万件を超え、11月末から約7倍に増加しています。（※）

本プロジェクトが有期雇用労働者を中心とする働く方々の待遇向上につながり、すべての方が働きがいを感じ活気ある日常を過ごせるよう、今後も必要な施策を迅速に決定し、実施してまいります。

（※）2022年2月27日時点

■当社概要

“Labor force solution company”をビジョンに掲げ、『労働力の総合商社』として、人材サービス事業とDX事業を運営しています。「私たち dip は夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」の企業理念のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

社 名：ディップ株式会社

代 表：代表取締役社長 兼 CEO 富田 英揮

本 社：東京都港区六本木 3-2-1 六本木グランドタワー31F

電 話：03-5114-1177（代表）

設 立：1997年3月

資本金：1,085百万円（2021年2月末現在）

従業員数：2,173名（2021年4月1日現在の正社員）※契約・アルバイト・派遣社員除く

事業内容：求人情報サイト「バイトル」「バイトル NEXT」「バイトル PRO」「はたらこねっと」などの運営、看護師転職支援サービス、DXサービス「コボット」の開発・提供、他

上場証券取引所：東京証券取引所（市場第一部）

売上高：売上高 324 億円（2021年2月期）

URL：<https://www.dip-net.co.jp/>

【お問合せ先】

◆記者発表会について

dip PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

荒川（080-7045-8071）、李（080-7672-6691）、照井

E-mail：dip@ssu.co.jp

◆「ディップ インセンティブ プロジェクト」および「時給 UP 企業応援団」について

ディップ株式会社 広報部

TEL 03-6628-4070

e-mail：info@dip-net.co.jp